

2024年2月13日

各位

会社名 株式会社フォーサイド
代表者名 代表取締役 根津 孝規
(東証スタンダード・コード2330)
問合せ先 常務取締役 飯田 潔
電話 03-6262-1056

特別利益の計上及び通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年12月期決算において、下記のとおり特別利益を計上いたしました。また、2023年2月13日に公表いたしました2023年12月期通期（2023年1月1日～2023年12月31日）連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

(1) 債務消滅益の計上について

当社連結子会社である日本賃貸住宅保証機構株式会社において、不動産関連事業（家賃保証事業）を行う中で、顧客である借借人や連帯保証人、その他の関係者から当該子会社への入金が発生いたします。その中で氏名の不一致や借借人等の所在不明等の不可避的な事由により、入金と未収賃料との紐づけができない事象が事業拡大に伴い一定数発生し、貸借対照表上において仮受金で計上をしております。当社としては、継続して不明入金内容の調査を行ってはいったものの、民法に基づく債権消滅時効である5年を経過した仮受金85百万円を債務消滅益として特別利益に計上いたしました。

2. 2023年12月期通期連結業績予想と実績値の差異（2023年1月1日～2023年12月31日）

	連結 営業収益	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,919	百万円 145	百万円 139	百万円 133	円 銭 3.89
実績値（B）	4,817	52	44	113	3.31
（B－A）	△102	△93	△95	△20	
増減率	△2.1%	△63.9%	△68.4%	△15.0%	
（ご参考）前期連結実績 （2022年12月期）	4,988	△75	△74	△107	△3.31

3. 差異の理由

連結営業収益につきましては、不動産関連事業は堅調に推移しましたが、プライズ事業において、営業利益の最大化を図る中で、採算率の悪い商品取扱いを見送ったこと等により、前回発表時の予想を下回る結果となりました。

連結営業利益及び連結経常利益につきましては、不動産関連事業における滞納発生数及び滞納家賃の

回収率低下による貸倒引当金繰入額が当初予想よりも大幅に増加したことにくわえ、マスターライセンスにおける広告収益が当初予想よりも下振れたこともあり、前回発表時の予想を大きく下回ることとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記「1. 特別利益の計上について」に記載した債務消滅益を特別利益として計上いたしましたが、前回発表時の予想を下回る結果となりました。

以 上